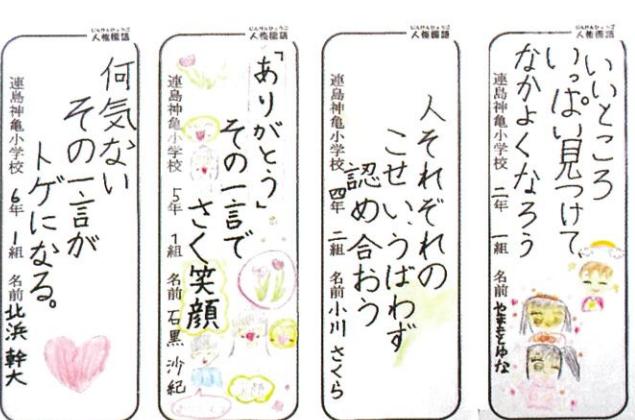
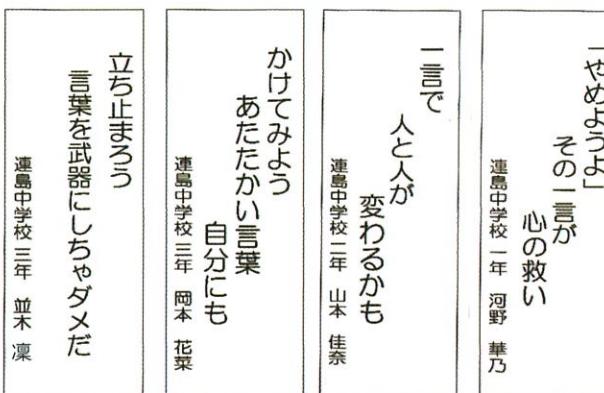


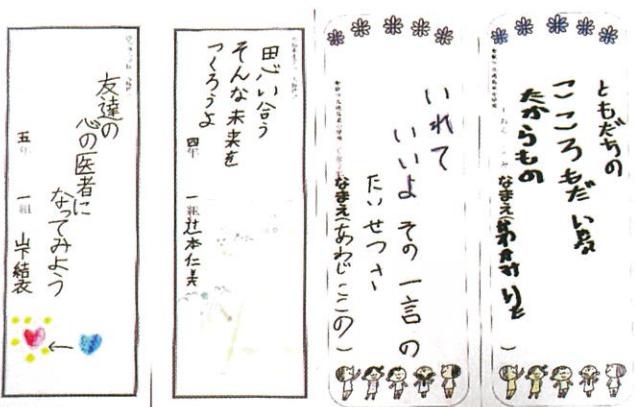
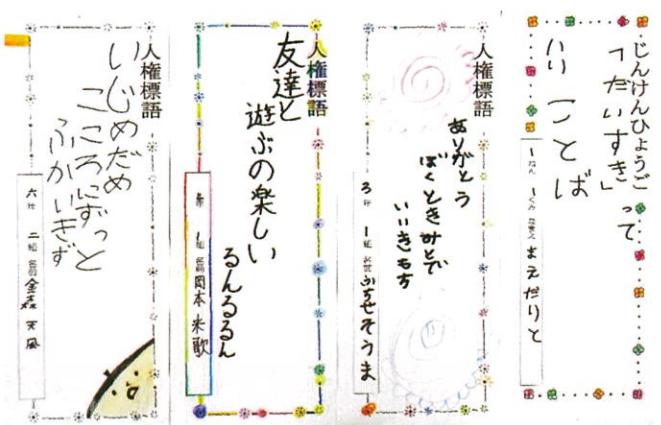
令和4年度 人権ポスター・標語作品

思いやりの気持ちが込められたあたたかい作品をありがとうございました。
作品を鑑賞された方は、改めて人権の大切さを考えてくださることだと思います。

連島中学校



連島西浦小学校



広報紙「連の和」は、愛育委員の皆さまのご協力により連島中学校区全戸に配布しています。

こちらの標語・ポスターは、ポケットティッシュにして人権啓発活動に使わせていただきます。



あなたの地域の人権だより

連の和

第 47 号
令和5年3月1日発行

連島中学校区人権学習推進委員会
事務局 連島公民館
TEL/FAX:086-448-0655
E-mail:ph-tsurajima@kurashiki-oky.ed.jp



人権学習推進委員会総会

6月7日(火)連島公民館大会議室において、令和4年度連島中学校区人権学習推進委員会総会が開催されました。総会では令和3年度事業報告・令和4年度事業計画や予算審議が行われました。「思いやり みんなでつくろう 明るい未来」を連島中学校区のテーマに、「明るいあいさつ つなぐ地域の輪」を重点課題に、「人権活動への積極的な参加」を目標に掲げ、今年度がスタートしました。

令和4年度 連島中学校区人権学習推進事業

都羅の小径歴史探訪 都羅の大平山山中に行く

講師 西浦学区コミュニティ協議会
事務局 矢部 啓一氏

都羅の小径歴史探訪に参加して

本年度も連島中学校区人権学習推進事業の一つである「都羅の小径歴史探訪」が西浦学区コミュニティ協議会共同開催のもと、10月30日に参加者49名を集め、開催されました。本年度は、「都羅の大平山山中に行く」と題し、地元大平山の山頂（標高162m）と寂嚴堂を目指し、ヘルスピア駐車場より例年講師でお世話になっている矢部啓一氏を先頭に出発しました。私自身、大平山山頂、寂嚴堂は数十年ぶりに訪れる場所であり、期待と少々体力的な不安の中、皆さんと歩を進めて行きました。

大平山山頂へ向かう道は、途中から急な勾配もありましたが、地元の方の整備のおかげで登りやすく、ちょっとした登山気分を味わう事ができました。山頂付近につくと、絶好の天気で、北は高梁川から船穂方面、南は連島から亀島山、水島工業地帯を一望できる絶景のスポットであり、改めて地元の良さを感じました。寂嚴堂ではかわいい猫がお出迎えしてくれ、久しぶりの訪問を歓迎してくれているようでした（後で聞くと地元の飼い猫？らしいですが）。この寂嚴堂も地元の方のおかげできれいに掃除されており、改めて地元の皆さん地域を愛する心に感動しました。

全行程、ゆっくり進んで約1時間半の道のりでしたが、お互いに励ましあい、且つ途中はわきあいあいと話をしながら山中を散策しました。皆さんも是非、大平山山頂からの景色を眺めてみては如何でしょうか？

連島中学校区人権学習推進委員会 会長 三宅 勝



連島東幼稚園

連島東小学校

連島西浦幼稚園

連島西浦幼稚園

長寿会の方と一緒に、すぐものたき火で、おいしい焼き芋をつくって食べたよ。



12月、地域の人たちのお手伝いを得て、みんなで「もちつき」をすることができました。ホッカホ力のお餅を、杵について丸め方まで教えてもらい楽しく過ごしました。新年がよい年になりますように♡





十二月四日（日）連島公民館にて、人権ふれあい研修会を開催しました。この研修会では、連島中学校区人権学習推進委員会主催の人権週間作品展に人権ボスター・標語を出品された皆さんとの表彰式を行いました。三宅勝会長から感謝状と記念品が贈呈されました。その後、受賞者と推進委員の皆さんで人権かるたをしました。※作品は、広報紙の裏面に掲載しています。

人権ふれあい研修会



連島中学校区・連島南中学校区合同研修視察

令和4年8月27日(土)、コロナ感染拡大のため2年間実施できなかった人権学習研修視察がありました。最初の目的地である井原市文化財センター古代まほろば館では、センター主任学芸員の柳沢綾子氏の「教諭師 加賀尾秀忍」についての講話を聞きました。

戦後、フィリピンに教諭師として赴任した加賀尾氏が死刑判決を受けた日本人と生活を共にする中で、身に覚えのない罪で戦犯にされている現状を知り、助命嘆願のために東奔西走したという苦労を知り、感銘を受けました。多くの戦犯者たちの命を救うための努力が最後にキリノ大統領を動かし、全員が釈放となりました。彼らが無事に故国の土を踏めた背景に多くの人たちの努力があったことを知り、戦争の痛みと命の大切さを改めて学ぶことができました。

次に向かったのが宝蔵院です。加賀尾氏が住職を務めたお寺で、現住職から当時の説明や写真を見せていただき、加賀尾氏の功績をより実感することができました。

井原市文化財センター
古代まほろば館での講話



※撮影時のみマスクを外しています。



連島公民館 人権教育講演会

伝えたい言葉・歌

～できる人が できる時に できる事を～

被災地復興支援団体
明日への架け橋 KURASHIKI
代表 内田 隆志 氏

講師



なかなか収束しない新型コロナウイルス感染拡大を不安に思ながらも計画通り6月26日(日)、無事に人権教育講演会を実施することができました。多くの方々に参加していただき、本当に嬉しく思いました。

内田氏の澄んだ声の中にも熱い思いが込められた歌と包み込むような優しい語り口に引き込まれ、あっという間の1時間半でした。

東日本大震災のお話の中で、子どもさんを亡くされた方の言葉「亡くした子どもたちの分まで生きる。天国で子どもたちに会えた時に頑張って生きたぞと胸を張って言えるように、命を大切に精一杯生きる。」からは、悲しみを乗り越えて生きていくんだという強い決意が伝わってきて、参加者みなが勇気をもらいました。

また、ウクライナのお話の中での歌「ぼくときみ」の歌詞には、平和への熱いメッセージが込められていて、改めて戦争の終結を強く願いました。

ところどころにユーモアを交えながら、思いやりの大切さ、命の尊さ、平和への願いを熱く、優しく伝えてください、しっかりと心に残る講演会でした。



● フットワーク軽く被災地へ行かれ、復興支援をされている内田隆志先生の体験談を拝聴し今生かされていることのキセキを改めて感じました。当たり前に寝て起きて食事してお風呂に入つて生活できること一つひとつに感謝したいと思います。

● 自分の経験されたことを素直に言葉にされた歌が多く心を打たれました。良い声で歌われるでの心に沁みました。また、三曲目の「ぼくときみ」では平和について考えさせられました。世界が平和でありますようにと祈るばかりです。

● お母さんのことを歌われた曲では、私の母を思い涙が出ました。「そのうちに」という曲を聴いて、相手の気持ちを考えながらも、大切なことに気付きながら過ごしていきたいと思いました。

● とても良いお話で、自分の人生について考えさせられました。心地よい歌声に深い深い意味のある言葉に感動しました。

＜参加者の感想＞

連島東小学校

「自己肯定感を高める取り組み」

連島東小学校では、「人権旬間」として年に2回、2週間ずつの取組をしています。

6月の「よいこと見つけの花」では、アジサイの花の台紙に、学級や学年の友達の「よいこと」や友達への「ありがとう」を見つけて書き、教室内に掲示しました。

11月～12月の「ハッピー・クローバー」では、5人グループを作り、クローバーの葉に4人の友達から良いところを書いてもらう取組をしました。

色とりどりのきれいなアジサイの花が咲き、幸せのクローバーの4つの葉がそろい、子どもたちの心もあたたかくなりました。

学校だよ

連島神亀小学校

本校では、自分や友達の良さに気付き、より仲良くしようとする心を育てるために、6月と12月に「なかよし週間」を実施しています。

今年度の「なかよし週間」では、6月に「なかよしの木」、12月に「ありがとうの木」に貼る花の形のメッセージカードを書いて、各学級や学年を越えて送り合いました。子どもたちは、嬉しそうに、満開になっていくそれぞれの木を眺めていました。

また、1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生でペア学年を組み、体育館で交流をしました。上学年が中心となってゲームを考え、楽しく仲良く交流することができました。

